

三工電機 株式会社

エコアクション21 2023年度

対象期間:2023年1月～12月

環境経営レポート



発行日 : 2024年7月18日

目 次

環境経営方針	…	1
会社概要	…	2
環境経営目標とその実績、および、試行期間後の目標	…	3
実施体制図及び役割・責任・権限表	…	4
環境経営計画の取組内容	…	5
環境経営計画の取組結果とその評価、及び次年度の環境経営計画	…	6
環境関連法規の遵守状況	…	7
代表者による全体評価と見直し・指示	…	7

三工電機株式会社
環境経営方針

基本理念
環境行動指針

環境マネジメントシステムを確立し、運用することによって、継続的改善を誓約します。

- 1.二酸化炭素排出量を削減します。重点分野として、ガソリン・軽油使用量削減を推進します。
- 2.廃棄物排出量の削減及び廃棄物の再生利用を推進します。
- 3.水道使用量の削減を推進します。
- 4.環境に配慮した製品（またはサービス）の製造及び販売を推進します。
（例えば、環境配慮型製品の製造及び販売）
- 5.地域のボランティア、教育活動に積極的に参加します。
6. 環境関連法規等を遵守します。
- 7.本方針を全従業員に周知徹底します。

制定日： 2023年4月26日

代表取締役社長

上川 博之

会社概要

□組織の概要

- (1) 名称及び代表者名
三工電機株式会社
代表取締役 上川 博之
- (2) 所在地
〒737-0921
広島県呉市苗代町126-30
- (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
責任者 辻 邦明 tsuji@sankodenki.com TEL:0823-30-3505
担当者 菅波 圭介 k.suganami@sankodenki.com FAX:0823-33-3501
- (4) 事業内容
電気機器の製造
主要製品: 船用分電盤、船用制御盤
- (5) 事業の規模
製品出荷額 1,275百万円(2023年度)

	本社
従業員 (人)	73
延べ床面積(m ²)	4,037m ²
敷地面積 (m ²)	7,859m ²

- (6) 事業年度 1月～12月

□認証・登録の対象組織・活動

全組織・全活動
事業者名: 三工電機株式会社
対象事業所: 本社・工場
対象活動: 電気機器の設計、製造、メンテナンス、Wi-Fi機器設置及び販売
従業員数: 73名

環境経営目標とその実績、および、試行期間後の目標

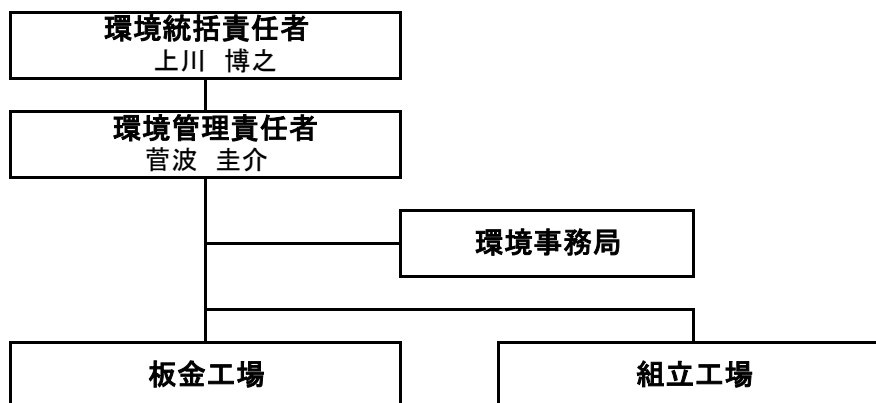
年度：1月～12月

環境目標			単位	基準年度	目 標				
				2022年度	2023年度			2024年度	2025年度
				1月～12月	1月～12月				
					目標	実施	判定		
1	二酸化炭素排出量の削減		k g-CO ₂	221,076	218,865 (－1%)	186,647	○	216,654 (－2%)	214,444 (－3%)
	①	電力使用量の削減	kWh	327,999	324,719 (－1%)	275,156	○	321,439 (－2%)	318,159 (－3%)
		購入電力		326,617		273,774	－	－	－
		自社太陽光		1,382		1,382	－	－	－
	②	ガソリン使用量の削減	ℓ	6,393	6,329 (－1%)	7,090	×	6,265 (－2%)	6,201 (－3%)
	③	軽油使用量の削減	ℓ	10,945	10,836 (－1%)	8,136	○	10,726 (－2%)	10,617 (－3%)
2	産業廃棄物排出量の削減		t	2.90	2.87 (－1%)	8.40	×	2.84 (－2%)	2.81 (－3%)
	一般廃棄物排出量の削減		t	3.96	3.92 (－1%)	2.81	○	3.88 (－2%)	3.84 (－3%)
3	水使用量の削減		m 3	813	805 (－1%)	769	○	797 (－2%)	789 (－3%)
4	生産性の向上 (全体売上/人数)		万円	1,646	1,811 (+10%)	1,748	×	1,811 (+10%)	1,975 (+20%)
5	地域緑化活動ボランティアへの参加		回	当該年度は未実施					

注1：電力からのCO₂排出量算出は中国電力の令和3年度二酸化炭素調整後排出係数：0.545kg—CO₂/kWh 使用

注2：PRTR法対象化学物質を使用していないので、化学物質に係る目標は掲げません

実施体制図及び役割・責任・権限表



	役割・責任・権限
環境統括責任者	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備 ・環境管理責任者を任命 ・経営における課題とチャンスの明確化 ・環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境経営目標・環境経営計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直しを実施 ・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規制等の取りまとめ表を承認 ・環境経営目標・環境経営計画書を確認 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・緊急事態対応手順のテスト、訓練の指導及び総括 ・環境経営計画の実施結果を代表者へ報告 ・環境経営レポートの確認
環境事務局	・環境管理責任者の補佐 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 ・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 ・環境経営計画の実績集計 ・環境関連法規制等取りまとめ表の作成、遵守評価の実施 ・環境教育訓練計画の作成と実施の管理 ・環境経営レポートの作成、公開（事務所への備付けと地域事務局への送付）
部門長	・自部門における環境経営システムの実施 ・自部門における環境経営方針の周知 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境経営の実施及び達成状況の報告 ・特定された項目の運用管理 ・自部門の環境上の緊急事態の想定と対応手順のテスト、訓練を実施、記録の作成 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	・環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

環境経営計画の取組内容

環境経営目標			目標の達成手段（取組）
1 二酸化炭素 排出量の削減	1	電力使用量の削減	1 照明をこまめに電源OFF
			2 長時間席を離れる時のPC電源OFF
			3 節電意識を高める注意喚起ポスターの設置
			4 サマータイム導入（7月～9月）
	2	ガソリン使用量の削減	1 省エネドライブの励行（急加速、急停車の防止）
			2 社用車のハイブリット車、電気自動車への変更
	3	軽油使用量の削減	1 納品の効率化（便数削減）
			2 定期点検の実施
2 廃棄物の削減	1	一般廃棄物排出量の削減	1 納入物に使用されている包装材の再利用
			2 両面コピー・裏紙の使用／再生紙の利用
			3 封筒の再利用
			4 マイ箸、マイ水筒、マイバッグの推進
			5 過剰梱包の見直し
			6 排出量の把握（袋単位）
	2	産業廃棄物 排出量の削減	1 分別の徹底、表示（廃棄物、リサイクル）
			2 各作業工程での廃棄材料の削減
3		水使用量の 削減	1 水を流しっぱなしにしない
			2 水栓場所に節水ラベルの設置
4		生産性の向上	1 生産工程の見直し
			2 DX化推進（デジタル人材育成・設備導入）
5		地域緑化活動ボランティアへの参加	1 海ゴミゼロウィークへ継続的に参加（国土交通省）

環境経営計画の取組結果とその評価、及び次年度の環境経営計画

1. 二酸化炭素の排出量削減 :

1-1 電力使用量の削減 : 達成 (対目標比 15.3%削減)

エアコン設定温度の決定・実行、休憩時や残業時の不要照明の消灯を徹底いたしました。

また、デマンド時計を導入し、使用電力の「見える化」を行った結果、全社員の意識も向上し、大幅な電力使用量削減につながりました。

2024年度は、板金工場に太陽光発電を設置いたしました。これまでは、本社工場のみでしたが、板金工場にも設置したことで一層の電力使用量削減が見込まれます。

1-2 ガソリン使用量の削減 : 未達成 (対目標比 12.0%増加)

営業活動の強化や工事現場への移動に車両を利用する機会が増加し、目標未達成となりました。

2024年度は、ガソリン使用量の削減に向け、電気自動車を導入します。

1-3 軽油使用量の削減 : 達成 (対目標比 24.9%削減)

トラック：エコドライブの実施、タイヤ空気圧の定期的確認、運搬経路の確認・検討により、大幅な軽油使用量の削減につながりました。

2. 廃棄物の削減 : 未達成

両面コピー・裏紙利用の徹底が定着化しつつあり、一般廃棄物排出量の削減は達成しております。

一方で、産業廃棄物排出量については、特殊受注により木くずが大量に発生し、目標未達成となっております。今後も特殊案件の発生により、想定していない産業廃棄物の発生の可能性はありますが、端材を最大限削減するよう設計に拘りを持ち、目標の達成に向け、取り組んで参ります。

3. 水使用量の削減 : 達成 (対目標比 4.5%減少)

節水の呼びかけを実施し達成いたしました。

今後も引き続き、現在行っている活動を確実に進めて行きます。

4. 生産性の向上 : 未達成 (対目標比 3.5%減少)

増収増益にて推移したものの、生産性の向上目標は若干の未達成となりました。

売上の安定確保とムリ・ムダ・ムラを省き、今後も徹底した生産性向上に取り組む方針です。

5. 地域緑化ボランティア活動への参加 : 未達成

2022年9月に海ごみゼロウィークに参加。2023年は、船主様と共同開発を予定しておりましたが、日程の調整が折り合わず、参加が適いませんでした。

★環境経営計画は引き続き、現状の取組を継続します。

環境関連法規の遵守状況

環境関連法規制の定期評価の結果、違反はありません。

また、関係機関からの指摘、利害関係者からの訴訟はありません。

主な環境関連法規は下表の通りです。

法規制等の名称	遵守評価
廃棄物処理法	○
騒音規制法	○
振動規制法	○
フロン排出抑制法	○

代表者による全体評価と見直し・指示

今期は、CO2排出項目である電力、軽油において目標を達成することができました。

社員の意識改革も進み、必要のない電気は消灯する等、電力使用量削減に向けた取り組みが定着して参りました。

また、2024年からは板金工場にも太陽光発電設備を設置いたしました。自然エネルギーを活用し、より良い製品を作って参ります。

一方で、ガソリン使用量については、未達成であり、大きな課題を残しました。

そこで、2024年は電気自動車を導入し、抜本的な改善に取り組みます。次回こそはガソリン使用量削減目標を達成させたいと思います。

廃棄物の削減については、突発的な案件発生により、想定していなかった木くずが大量に発生しました。突発要因とは言え、未達は未達です。今後は設計段階から如何に端材を少なくするかに拘りを持ってものづくりに励んで参ります。

目標の未達成はありましたが、社内の環境経営意識は高まってきており、今後改善が期待されます。

地球に優しい企業を目指すことが社会的責任と考え、今後もエコアクション21に取り組んで参ります。

